

令和4年度事業報告書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

特定非営利活動法人さのせき・彩彩カフェ

1. 事業成果

令和4年 大分市は「県都の過疎」が懸念される。周辺部では人口の流出が止まらない。人口が減る中、空き家・空き地も増え続ける。日常生活に欠かせない「居場所」も減り続ける。経済重視では地域は消滅！の危機にあるのでは、大切なのは、住民の孤立を防ぐ「地域コミュニティー」どう立ち直すか！。大分市の東端、佐賀関半島の魅力と持続可能な日常を守るため、毎月第3火曜日に「ローカルデザイン会議」を18:30～21:00まで開いている。世代を超える提案が魅力だ。会議には、日本文理大学 建築学科 学生や一般に専門分野の社会人が中心。過疎をテーマに「二世帯・三世帯住宅」の設計に取り組んでいる。学生による現地調査や住民とのコミュニティーが面白い。中長期的に持続可能な「事業提案」に挑戦と実施を継続している。2030 SDGs(持続可能な開発目標)取り入れる「佐賀関半島を2030 SDGsで変わる」を目標に継続・実施する。地域コミュニティーの中核をなす、楽・楽マルシェは10周年を祝う。続けることの重みを地域に刻む。



- ◆高齢者や障害者を訪問し、家事などの生活支援事業
・高齢者宅の生活支援 中庭の除草及び垣根撤去作業 予約2件

- ◆共働き家庭を訪問し、家事、育児などの生活支援事業
・若い家族家庭への支援も充実させる必要がある。
・疾病をもつ若年層の支援は過疎のまちでは重要な課題。

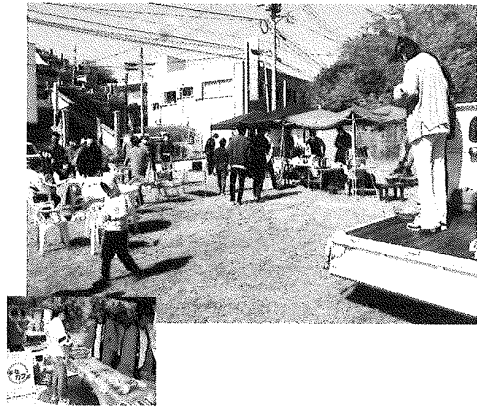
- ◆地産を活用した郷土料理を提供し、支え合い、ふれあい事業
・昨年の8月から、自治区の高齢者も移動が段々と難しくなりリヤカーによる移動 楽・楽マルシェに変更。
今年度は、4月から毎月第4土曜日は、「れもんカフェ(認知症カフェ)」も3年目にはいり、時には地域外の方々も参加があり、世代を超え、楽しんでいる。



◆ 個性的商店街づくり事業

・毎月第4土曜日は「楽・楽マルシェ」商店街の賑わいを地元の交流の場として開催しています。新鮮な野菜があり、手作りパン、手芸品など。中でも日本文理大学生カフェは学生が企画運営する。季節毎にコーヒーやかき氷に焼き鳥といろいろ企画を変えています。何よりも地元の人々とのコミュニティが賑わいに一役。来場者は毎回100人を超えています。新しく津久見高校調査部の女子学生さんも加わり会場も盛り上がりを見せる。

7月には7周年を、昼の部と夜の部（路地うら夜市）を開催、せど風が気持ちよく皆さんの表情も和み、7周年を目標に「楽・楽マルシェ」は続きます。10月には楽・楽マルシェ100回記念 達成。



◆ ピオファーム河内農園運営事業（独自事業）

・大分県森林環境保全関係事業の拠点でもある大分市大字本神崎河内地区。小規模農業集落でもあり、後継者不足で田畑は荒廃。里山は放棄され荒廃が進む集落。放棄された田（竹林）を畑に戻すことから始まり10年が経過。今では、野菜にレモン、キウイなどを町中で販売する。独り暮らし高齢者に好評。まちの駅よらんせえ～店頭で販売、来客数は日に20数人が訪れる。4年前からは、レモン・キウイ・甘夏・真桑などのジェラートをまちの駅で提供し、地元産の美味しさをアピールしている。



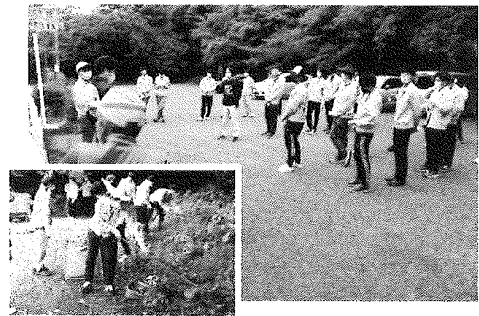
◆ 令和3年度 れもんカフェ（大分市認知症カフェ運営事業）運営事業

本年度は、受講者と「れもんカフェ」を開設。自治区を中心に高齢者と次世代の料理体験、ときには日本文理大学 学生も一緒に体験するなど交流も盛んです。ふだんの暮らしの仲に「れもんカフェ」が地域に寄り添います。



◆ 佐賀関半島・触れる観光プロジェクト2021

・本年度は、日本文理大学 建築学科1年生(24名)が地域体験交流活動で佐賀関半島 関崎灯台周辺を3回に分け自然林の伐採・剪定など地元と方々の指導受けながら、作業体験と交流活動を実践。海と山のつながりや自然を体感しました。地域社会の体験を学ぶ一環、プログラム。NPO、建築士会佐賀関支部、自治会の協力を得てこれからも続く取り組み。



2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事項

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施日時 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:円)
①高齢者や障害者を訪問し、家事などの生活支援事業	室内清掃を中心に生活支援	該当なし	(D):なし (E):なし	0
②共働き家庭を訪問し、家事育児などの生活支援事業	準備中	該当なし	(D):なし (E):なし	0
③地産を活用した郷土料理を提供し、支え合い、ふれあい事業	地域情報の案内や休憩・食事	(A):月～土曜日 (B):9時～15時 (C):従事者 1人	(D):一般市民 (E):120人	80,293
④訪問介護及び小規模多機能施設の開設運営事業	計画中	該当なし	(D):なし (E):なし	0
⑤大分県社会福祉協議会委託事業	準備中	該当なし	(D):なし (E):なし	0
⑥大分県森林環境保全	休止中	該当なし	(D):なし (E):なし	0

⑦地域活力づくり支援事業	衰退する閑あじ閑さば通り商店街の活性化に毎月第4土曜日に空き地を活用する「楽・楽マルシェ」を実施。日本文理大学生も参加するなど、商店街を回遊する仕組み作りも進んでいる。	(A)：毎月第4土曜日 (B)：10時～13時 (C)：従事者 不特定	(D)：一般市民 (E)：不特定多数	0
⑧佐賀関半島・触れる観光プロジェクト	地域の再生と活性化に向けた「地域資源」の研究と利活用。	(A)：毎月第3火曜日 (B)：19時～21時 (C)：従事者 不特定	(D)：なし (E)：なし	26,098
⑨豊和銀行 N P 成事業	佐賀関半島の森と海がもたらす気候の豊かさ体感！体験プロジェクト事業	該当なし	(D)：一般市民 (E)：不特定多数	0
⑩森と海をつなぐ環境保全推進事業	佐賀関半島の関崎灯台周辺、国有地、大分市所有地でありながら森林の保全が手つかずのまま、自然林の整枝を進め、土壌を活性化させ、海へ栄養分が届くようにする事業。海岸に漂着する処理・清掃も絡む環境保全事業。	該当なし	(D)：一般市民 (E)：不特定多数	26,309
⑪れもんカフェ運営事業	大分市認知症カフェ運営事業。自治区を中心に高齢者と次世代と料理体験、ときには日本文理大学生も一緒に体験するなど交流も盛んです。ふだんの暮らしの仲に「れもんカフェ」が地域に寄り添います。	(A)：毎月第1,3土曜日 (B)：10時～12時 (C)：参加者 不特定	(D)：一般市民 (E)：不特定多数	67,280
⑩ Bioファーム 河内農園運営事業	放棄された休耕田を活用する事業	(A)：休日のみ (B)：10時～17時 (C)：従事者 不特定	(D)：一般市民 (E)：不特定多数	82,178
摘 要				事業費の合計 282,158

令和4年度特定非営利活動事業に係る活動計算書
令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

特定非営利活動法人さかのせき・彩彩カフェ

科 目	金 額(単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員・賛助会員会費	0	0
2 事業収益		
①高齢者や障害者を訪問し、家事などの生活支援事業	33,000	
②共働き家庭を訪問し、家事、育児などの生活支援事業	0	
③地産を活用した郷土料理を提供し、支え合い・ふれあい事業	20,000	53,000
3 委託事業収益		
①大分県社会福祉協議会	0	
②大分県森林環境保全	0	
③地域活力づくり支援事業	0	
④佐賀関半島・触れる観光プロジェクト (令和3年度ふるさと創生NPO活動)	95,000	
⑤豊和銀行 NPO助成事業	0	
⑥森と海をつなぐ 環境保全推進事業 (2020年 第29回休環境活動助成)	0	
⑦れもんカフェ運営事業	60,000	155,000
4 独自事業収益		
①ビオファーム河内農園運営事業	172,000	172,000
5 その他収益		
雑収入	0	0
経常収益計		380,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
就労賃金	0	
その他の賃金	26,400	
法定福利	0	
福利厚生費	0	
人件費計		26,400
(2) その他経費		
通信費	32,727	
光熱費	0	
租税公課	3,300	
家賃・地代	0	
保 險	0	
修繕費	103,285	
消耗品	77,619	
LPガス (燃料費)	0	
食材仕入れ	38,827	
事務・料理体験食材費	0	
賃借料	0	
雑 費	0	
その他経費計		255,758
事業費計		282,158

2	管理費			
	(1) 人件費			
	職員給料	0		
	職員手当	0		
	法定福利	0		
	福利厚生費	0		
	人件費計		0	
	(2) その他経費			
	通信費(携帯電話含む)	90,333		
	光熱費	78,000		
	租税公課	6,156		
	家賃	0		
	保険	0		
	修繕費	0		
	消耗品	45,294		
	事務用品	50,000		
	会議費	0		
	什器備品	0		
	賃借料(軽四借上げ料)	0		
	雑費	0		
	その他経費計		269,783	
	管理費計		269,783	
	経常費用計			551,941
	当期経常増減額			-171,941
III	経常外収益			
	1 固定資産売却収入	0		
	経常外収益計		0	
IV	経常外費用			
	1 固定資産取得支出			
	経常外費用計		0	0
	経理区分振替額		0	
	当期正味財産増減額			-171,941
	前期繰越正味財産額			-411,551
	次期繰越正味財産額			-583,492

財務諸表の注記

特定非営利活動法人さかのせき・彩彩カフェ

1. 重要な会計方針

財務表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

令和4年度特定非営利活動事業に係る貸借対照表
令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

特定非営利活動法人さかのせき・彩彩カフェ

科 目	金 額(単価:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	307,395		
現金預金	813		
未収金	0		
前払金	0		
流動資産合計		308,208	
2 固定資産			
備品: 気象観測棟・森づくり案内所施設	550,000		
什器備品	100,000		
固定資産合計		650,000	
資産合計			958,208
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	1,328,930		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		1,328,930	
負債合計			1,328,930
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			-411,551
当期正味財産増加額(減少額)			-171,941
正味財産合計			-583,492
負債及び正味財産合計			745,438

法第28条第1項関係様式)

令和4年度特定非営利活動事業に係る財産目録
令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

特定非営利活動法人さかのせき・彩彩カフェ

科 目 ・ 摘 要	金 額(単価:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	307,395	
現金預金		
普通預金 大分銀行佐賀関支店	120	
普通預金 大分みらい信用金庫 坂ノ市支店	288	
ゆうちょ銀行	405	
未収金	0	
流動資産合計		308,208
2 固定資産		
備品: 気象観測棟・森づくり案内所施設	550,000	
什器備品	100,000	
固定資産合計		650,000
資産合計		958,208
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金	0	
前受金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	1,328,930	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		1,328,930
負債合計		1,328,930
正味財産合計		-583,492